

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス なないろ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和8

年

4月

1日

法人（事業所）理念		子どもと家族が幸せを実感しながら生きる方法を共に尊重・・・（そのらしさを認め、尊重する） 子どもの願いを理解し叶える方法を共に探していく 安心・・・（安心して過ごすことができる居場所） 友達や職員と関わりながら自分らしさをだせ、心が安らかに過ごせる場所の提供 信頼・・・（心の安定） 子どもが安心できる人間関係を形成するように努め、信頼関係の構築 共に楽しむ・・・（喜びと楽しさを感じながら過ごす） 大人が子どもと共に楽しみ、子どもの楽しみを応援することで生きがいを持ち充実した日々を過ごす 自己有能感の育み・・・（自分自身に対する肯定的な感覚）自分は、できるという感覚、自分なりに頑張ったと思えることの繰り返しで自分自身に対する肯定的な感覚を養う 人との繋がり・・・（共に生きる）周囲の人たちと共に生きることを目指し、子どもが生涯にわたって人とのかかわりを築く土台作りのお手伝い					
支援方針		・一人ひとりの個性に合わせた支援の提供 ・安心して過ごせる環境の設定 ・5領域に沿った活動（集団療育・個別療育） ・ご家族への相談援助、関係機関との連携					
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持・改善 生活リズムや生活習慣の形成 ・身体的・精神的・社会的訓練 衣服の着脱、排泄、身だしなみ 障害の特性に配慮した空間作り					
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の向上 保有する感覚の総合的な活動 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持 視覚・聴覚・触覚の感覚を十分に活用できるよう遊びを通して支援					
	認知・行動	・認知の発達と行動の習得 空間・時間・数等の概念形成の習得 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ・視覚・聴覚・触覚を活用して情報を収集し認知機能の発達を促す支援 数量、形の大きさ、重さ、色の違いの習得					
	言語 コミュニケーション	・言語の形成と活用 コミュニケーションの基礎的能力の向上 ・具体的的事物や体験と言葉の意味を結びつける 言葉・文・指差し・身振り・サインなどの用いて環境の理解と意思の伝達					
	人間関係 社会性	・他者との関わり（人間関係）の形成 自己の理解と行動の調整 仲間づくりと集団への参加 ・信頼関係を基礎として周囲の人と安定した関係を形成 見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊びなどの象徴遊びを通して社会性の発達を支援集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援					
家族支援		・学校やご家庭での様子を伺う中でお困りごとや支援の共有を行い、共に考えていける場を設ける。 ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談支援			移行支援	・進路先や移行先への相談援助や情報提供。 ・併用利用先や学校との情報共有や支援のすり合わせ。	
地域支援・地域連携		・日頃から挨拶や交流を心掛け地域の方に事業所を知ってもらう。 ・学校や関係機関との連携や情報の共有。			職員の質の向上	・定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施。 ・職員に各種勉強会や研修への参加。	
主な行事等		・季節の行事（七夕・ハロウィン・クリスマス・節分・お茶会など）や季節の製作。 地域の子供たちのバイオリンコンサートの実施。					